

内容項目名	生命の尊さ (内容項目 D- (19))
資料名	「ペットの命はだれのもの？」(出典「NHK DVD教材 道徳ドキュメント」)
学校名	柏市立風早中学校 指導者名 相原 康平

## 1 学習指導案

### 中学校 1 年 1 組 道徳学習指導案

平成 29 年 1 0 月 2 5 日 (水) 5 校時

#### (1) 主題名

生命の尊さ


#### (2) ねらい

ペットの命について考えることで、命に責任を持つということの意味を考え、命あるものを大切にしようとする心情を育てる。

#### (3) 主題設定の理由

本主題は、学習指導要領の「生命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることへの感謝の念を持つ」を受け設定した。生き物を飼うことは、その生き物の命を預かるということであり、毎日餌をやり、掃除をして育てていかなければならない。生き物の様子を観察したり、様々なことに適切に対応したりしていかなければならない。生徒たちは時として、自分のことで精一杯になってしまい自己中心的な考えで行動してしまう。生き物と接することで「命」の大切さを感じ、動物も人間と同じで、一つの「命」しかないかけがえのない存在であるということ、人の都合によって動物の命が左右されてしまっている現状があること、その責任の重さについて考えを深めさせたい。

#### (4) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (5)	1 本時の課題をつかむ。 ○自分にとってペットとはどんな存在だろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>癒し</li> <li>充実感</li> <li>安心感</li> <li>生きがい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペットから得られることについて簡単に触れる。</li> <li>処分場の動物の写真を提示したくさんの命が絶たれている現実を知らせる。</li> </ul>
展開 (40)	2 「ペットの命はだれのもの？」を視聴する。  番組の視聴 15分		<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の命を大切にするとはどういうことか考えながら番組を視聴させる。</li> </ul>
	3 登場する二人の思いや考えについて話し合う。 ○おばあさんはどんな気持ちで猫を処分場にもちこんだのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>猫に「ごめんね」という気持ち。</li> <li>かわいい猫だけど、きまりだから仕方ない。</li> <li>自分の生徒のようにかわいがってきた猫だからとてもかなしい。</li> <li>逃がすのは無責任だか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おばあさんの行動や気持ちに目を向けた感想を取り上げる。</li> <li>「きまりだから仕方ない」などの意見が安易にでてきたときは「おばあさんは動物の命を大切にしていなかったのだろうか」と発問し、子猫から大切に育てたおばあさんま</li> </ul>

		<p>ら、つらい気持ちをこらえて処分場につれてきた。</p>	<p>た命を大切にしていたことに気付かせたい。</p>
<p>○塩見さんはどんな思いで活動をしているでしょう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1頭でも多くの動物の命を救いたい。</li> <li>・選ばれる動物と処分される動物に分けることがつらい。</li> <li>・新しい飼い主たちには責任をもって飼って欲しい。</li> <li>・殺処分される動物が減って欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩見さんたちの活動のプラスの面とそれでも残される課題について考えさせたい。</li> <li>・塩見さんが処分場から連れて帰ることができない動物に対してどんな気持ちでいるのか考えさせる。</li> <li>・新しい飼い主を探す会での塩見さんの声の大きさや表情にも注目させ、必死の願いに気付かせたい。</li> </ul>
	<p>4 4人グループで考えを深める。</p> <p>◎動物の命を大切にすることとはどういうことだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここまでの話し合いをもとにワークシートに自分（個人）の考えをまとめる。</li> <li>・グループ学習活動（4人）の中で、中心発問に対する自分たちの意見を話し合う。</li> </ul> <p>5 全体で意見を発表し合う。（時間があったら、以下の展開もいれたい）</p> <p>○しかし、ペットを捨てる人がゼロになることは、まだ、達成されていません。なぜでしょう？</p> <p>○「命を大切にするために、できることとは何だろうか？」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最期まで責任をもって飼うこと。</li> <li>・動物の命を生かすも殺すも人間の責任であることをもっと考えなくてはいけない。</li> <li>・飼った動物をかわいがり、動物が死ぬまで世話をすることだと思う。</li> <li>・やはり、人間社会はペットより人間が中心。</li> <li>・違った考えの人がいるから。</li> <li>・間違った思い込みをしている。</li> <li>・関係ないと思う無関心が一番ダメ。</li> <li>・社会人としての関心をもつこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えに根拠も書き加えるようにする。</li> <li>・「責任をもって飼う」とはどうすることなのかを合わせて考えさせたい。</li> <li>・「かわいいから」など自分の都合だけで安易に動物を飼おうとしないような気持ちを持たせたい。</li> </ul>  

<p>終末 (5)</p>	<p>6. 今日の学習課題を振り返る。 ○「人間の都合によって命が左右されるペットと互いに支え合って生きていくためにはあなたならどうしますか」 ・自分の生活を振り返り、今日の学習から考えたことをまとめる。 ・今日の学習（仲間との話し合い等）から考えたことをワークシートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今飼っている猫を最後までかわいがりたい。</li> <li>・動物を飼うことは動物の命を預かることなのだ。</li> <li>・最期まで世話したい。</li> <li>・命を大切にすることは感謝し、健やかなるときも、病める時もいつも前に進もうとする気持ちをもつことだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物の命に関連して、自分が大切にしたいと思うことをワークシートに書かせる。</li> <li>・1時間の授業を通して考えが深まった部分や変化を記録させる。</li> <li>・動物の命を左右している人間の責任や大切にすることの意味などについて書いている生徒のコメントを取り上げる。</li> <li>・ペットを手放すことはペットの将来を奪う、自分の立場に置き換えて、希望を失う、未来を捨てることなど想像させたい。</li> </ul>
-------------------	--	---	---

### (5) 他の教育活動との関連

本校の道徳教育の重点目標「諸活動を通し、互いに他を尊重し、相手を思いやる心の育成に努める。」を達成するために本学習を1学年全クラスで実施した。理科の「自然環境と人間のかかわり」の単元においては、ペットとして飼われていた生物が捨てられ、その土地の生態系に影響を与えてしまっている問題を考える場面がある。社会科(公民)の、引き取り先が見つからない動物が税金によって殺処分という措置がとられていることなどに関わらせ、生命尊重についての学びをより深めていきたい。

## 2 事後検討会

### (1) 授業記録

(中略)

- T このDVDには、二つの立場の人が登場しました。猫をもってきたおばあさんとペットの命を救おうと活動をしている塩見さんです。それぞれどんな気持ちだったかを想像して、自分の意見を隣の人と交換してください。
- S おばあさんは猫に「許して欲しい」という気持ち。塩見さんは1頭でも多くの動物の命を救いたいという気持ち。
- T 2人とも辛い思いをしているんですね。では、「動物の命を大切にする」とはどういうことだと思いますか。
- S 生き物を飼うと決めたら、死ぬまで面倒をみることを誓い、責任感をもつべきだと思います。
- S 自分が最後まで動物を育てられるか確認してから飼うべきだと思います。人間の自分勝手さが動物を不幸にしていると思ったからです。
- S 最後まで飼えないならばはじめから「買わない」方が良いと思います。
- S 動物を捨てるということは命をすてることになるので、ペットを飼うときは最後まで自分が責任をもつ、人生のパートナーを選ぶような気持ちでいなければならないと思いました。
- S 責任をもって世話をしなくてははいけないし、最期まで飼わなくてははいけない。
- S ペットといえども人間の命と同じ価値だと思って接していかななくてはならないと思いました。
- T 一生の友達、パートナーになるくらいの覚悟がないと飼ってはいけない、責任をもつことがとっても大事だと思っていることがわかりました。しかしまだ処分ゼロには至っていません。もう少し考えてみましょう。今、みんなが発表してくれたことは「理想」ですね。

塩見さんもみんなと同じように思っていました。では、おばあさんはどうだったのでしょうか？

S ……。おばあさんも命を大切だと思っていた。

S 処分場へ連れていくとき悲しそうな表情だった。

T 自分はおばあさんが手を合わせているシーンがとっても印象に残っています。

こんな風に考えている人がいるかもしれません。例えば、「飼えなくなったら、自然に放してあげた方がいいと思っているAさん」。どうですか？処分場へ連れて行ったおばあさんとAさん、どちらが命を大切にしているのでしょうか？おばあさんは泣きながら処分場へ猫を連れていきました。Aさんは動物を自由にしてあげました。どちらが本当に命を大事にしているのだろう？どちらが動物にとっていいのか考えて欲しいのです。

S Aさんとおばあさん、どっちかな？

T ペットの処分の問題は人間が作り出した問題だと思います。今日のテーマは「命」でした。命は大切だとわかっているけど、どう行動をしていけばいいか悩みますね。今日みんなで話し合ったことを、考え続けていって欲しいと思います。

## (2) 授業の感想

### (生徒の感想)

- ・動物は、よく考えてから飼わないといけないのでとても難しいことなのと思った。僕は、もし飼うことになったら、自分は動物を飼うことに責任を持てるかということを実問自答してみます。
- ・ペットを飼うとはどういうことなのか飼い主のこと、飼い主ではない人のことが良く分かった。私は飼っていないけど、もしこの先飼うことになったら、今日の授業を思い出し、飼うなら責任をもって最期までそのペットにとって良い飼い主でいられるようにしたい。
- ・この世界にはたくさんの犬や猫が殺されて、27万以上もの犬や猫が人のきまぐれで殺されている。どれだけ犬や猫を殺す時に押すボタンをどんな気持ちで押しているのか、一匹でも多く助かって欲しいです。

### (参観者・他校教職員の先生の感想)

- ・落ち着いた学習態度で授業に参加していたこと、和やかに自然な様子で互いの感じたことや考えを述べ合っていたことが印象に残りました。
- ・犬や猫などのペットの話から「命」について考えることで「命」についての考えがより深まっていたように感じられました。また、これから生徒達が今後ペットを飼う上での意識づくりもできたように感じます。
- ・道徳教材として、とても良いDVDがあるなと思いました。特にナビゲーターの最後の問いかけ「生きるのも人間の都合、死ぬのも人間の都合、それでいいのか」は、まさに本時の中心発問ではないかと思います。

## 3 本事例の活用に関する留意点

### (1) 映像教材を活用した利点

とてもつらい気持ちを抱えている表情や声を実際見て感じるができるのは、映像教材ならではであった。今回この番組を見て、生徒たちはこの「おばあさん」「塩見さん」「Aさん」三者の葛藤を自分のものとしてとらえることができた。そしてこれが現実に行っていることだと知り、真剣に命の大切さを考えることができた。

### (2) 発展学習に向けて

さらに、命について思いを深めることができる教材がある。生き物との関わりから生命の尊さを考えさせるような絵本「いのちをいただく」や同じNHKの番組教材「命の恵みをいただきます」など、学級の生徒に応じて、総合的に実施することでさらに深く考えることができると思う。